高松市立屋島西小学校

校長　秦　　照幸

1　教育目標

明るく素直で思い合う心をもち，主体的に実践する心身ともに活力のある児童を育成する。

2　研究主題

認め合い，主体的に学ぶ子どもの育成－子ども理解を生かした授業づくり－（平成 29 年度）

3　本年度の特色ある教育活動

キーワード	「自分から」活動　子ども理解　認め合う学習　自己有用感と自己指導力

(1)　学校経営方針－笑顔いっぱい，優しい心がもっと響き合う学校－

「自分から」活動の承認と，子ども理解に基づく認め合う学習を重視した授業により，児童に自己有用感と自己指導力を育成し，「活力」があり，明るくたのしい学校をつくる。

【認め合う学習】

① 学習意欲を高め，基礎学力と考える力を伸ばす。
（目標の達成のために何をするのか）

・授業の目標とゴールを意識すること　・指導過程の可視化
・教材教具の工夫　・児童の自己評価と教師の見取りの工夫

② 豊かに感じ理解し（生活力），深く考え（思考力），実践する（自己指導力）態度と「志」（総合力としての「活力」）を育む。（学びを自分の生き方にどうつなぐのか）

・「西っ子いきいき学習」（自然，生命，文化・伝統）により，問題解決的学習と生き方の統合
・表現活動を通して，肯定的な自己形成の礎を培うこと

③ 規範意識の定着，強く・やさしい「心」と実践力を高める。
（西っ子の一人として，人のために，自分のために何をするのか）

・朝，昼，放課後に「自分から」活動（ボランティア活動やチーム活動，個別相談，補充学習）
・「体力向上への遊び」「心を磨く無言清掃」「学習の準備」の意識化で生活習慣づくりへ
・互いのよさを認め合い，感謝の心で人とつながる仲間づくり

(2)　本年度の教育改善の視点―「考える授業」「特別支援教育」を改善のチャンスとして―

格差社会に生きる児童の状況を正しく知り，児童・保護者に寄り添い，社会の期待に応える。

正しい生徒指導	考える授業へ改善	特別支援教育推進	人権意識の高揚
○「共感的理解」「自己存在感」「自己決定」で，児童の自己指導力を育てる ○指導から児童のよさを引き出す支援へ ○児童が「自ら考え実行する」のを待つ ○Q-U等で状況を的確に掴み相談・改善 ○現場主義，児童第一主義，未然防止	○思考・判断力，表現力，自己指導力等の児童の資質・能力を育てる授業を追求 ○認め合う学習と評価を必ず取り入れる ○児童主体，簡潔な発問・助言で「待つ」 ○思考ツールや板書工夫で思考環境整備 ○ノート指導，「書く・話す」がたのしい	○児童理解と誠実かつ適切な就学指導 ○個のよさ・成長を認め合う仲間づくり ○発達障害への正しい理解，チームで情報共有と見守り，よさを引き出す支援 ○通級教室の効果的な運用と適正化 ○ユニバーサルデザインの授業	○児童の言動の背景を正しく理解 ○保護者の願いを受け止め，連携強化 ○一人一人が大切な存在として，生き方を問う，教師も自分を語る ○教師自身の人権感覚を磨く(壁の除去) ○常に弱い立場に立って考え改善へ

西小プライド　**子どもと共に成長することを喜び，教員として働くことに誇りをもち，自ら西っ子の生き方モデルとなる**

(3)　学校・教職員への信頼の獲得

・「チーム屋島西」としての実績を上げること（学力向上，生活力向上，不登校対策）
・道徳授業の積み重ねと評価（ノート）、外国語科の指導力向上に全力を尽くすこと
・児童・保護者の意見や調査結果を誠実に受け止め，調査結果と改善方策を適切に示すこと
・「西小プライド」の堅持による教職員の自己規律強化と学校コンプライアンスの確立
・働き方改革について教職員自らが意識し、組織的・個別的に職務遂行の効率化と勤務時間短縮に努めること（やめる・減らす・変える）
・学校ブログの発信（毎日）とホームページの更新（いじめ対策基本方針，学校評価等）
・高松型学校運営協議会の設立と学校運営についての意見交換